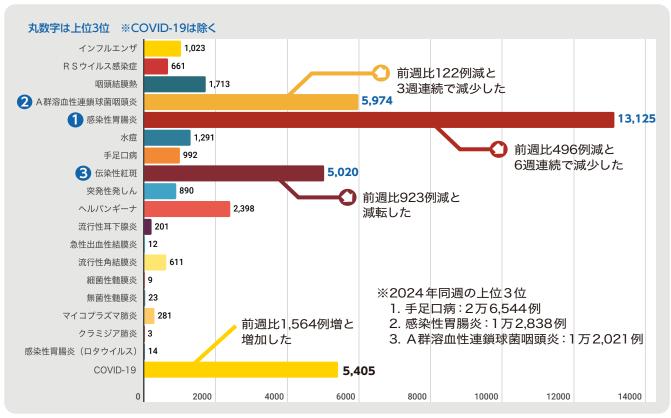




感染症 Weekly Report

国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトが発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

コロナ2週連続増で5,000例台半ばに



(国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイトのデータを基に編集部作成)

❶感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都:1,574例 2. 大阪府:1,003例 3. 神奈川県:716例

定点当たりの報告数(5.57)

1. 愛媛県: 9.67 4. 奈良県: 8.26 7. 宮崎県: 7.67 10. 福岡県: 7.27 2. 大分県: 9.28 5. 石川県: 8.11 8. 島根県: 7.55 11. 兵庫県: 6.70 3. 岐阜県: 8.44 6. 群馬県: 7.92 9. 岩手県: 7.41 12. 熊本県: 6.61

②A群溶血性連鎖球菌咽頭炎 報告数

東京都:877例
埼玉県:519例
神奈川県:379例

定点当たりの報告数(2.54)

1. 栃木県: 5.59 4. 富山県: 4.00 7. 宮崎県: 3.73 10. 千葉県: 3.07 2. 埼玉県: 4.68 5. 茨城県: 3.92 8. 東京都: 3.35 11. 鳥取県: 2.95 3. 愛媛県: 4.67 6. 福島県: 3.89 9. 福岡県: 3.16 12. 長崎県: 2.90

❸伝染性紅斑

報告数

大阪府:448例
北海道:447例
静岡県:265例

定点当たりの報告数(2.13)

1. 山形県: **5.50** 4. 島根県: **4.55** 7. 石川県: **4.25** 10. 三重県: **3.45** 2. 群馬県: **5.16** 5. 長野県: **4.41** 8. 和歌山県: **4.07** 11. 大分県: **3.33** 3. 栃木県: **4.74** 6. 北海道: **4.38** 9. 富山県: **3.83** 12. 茨城県: **3.29**

※その他、14府県が警報基準値(2.00)超え

今週の感染症動向

感染性胃腸炎は前週比496例減と6週連続で減少した。A群溶血性連鎖球菌咽頭炎は122例減と3週連続で減少した。伝染性紅斑は923例減と減転し、定点当たりの報告数が警報レベル(2.00)を超えた地域は、前週の28道府県から26道府県(山形県、群馬県、栃木県、島根県、長野県、北海道、石川県、和歌山県、富山県、三重県、大分県、茨城県、福島県、宮城県、新潟県、秋田県、奈良県、福岡県、静岡県、福井県、大阪府、滋賀県、山梨県、岐阜県、京都府、広島県)に縮小した。COVID-19は1,564例増と2週連続で増加し、9週ぶりに5,000例台半ばに達した。水痘は250例増と増転し、定点当たりの報告数は埼玉県(1.69)、神奈川県(1.16)で注意報レベル(1.00)を超えた。

